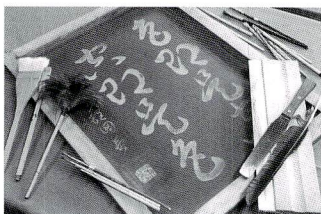




西陣の帯刺繍を取り入れた「トレーナー」8000円や、同じ西陣在住の書道家と企画デザインした『足るを知る』と記した「禅語Tシャツ」4800円、西陣織りを使った「ハンチング」8800円など、地元西陣の技術とコラボしたアイテムが人気



Tシャツに染め抜く文字の型は、アトリエのお隣さんでシルクスクリーンの専門家である職人さんに作ってもらったもの。西陣在住の陶芸家に習った清水焼のポタンや、古道具の中に混ざっていたアンティーク品や古銭など、材料はどれも身近なものばかり



京文化や京テイストを活かした衣料など、JAPO-RHYTHMオリジナルのアイテムが揃う直営店。いま一番注目されているのは、和柄のボクサーパンツとか。今後は、直営店のみの限定商品も展開予定

京 KYOTIAN I.D.

京のおきばりさん

JAPO-RHYTHM代表

西村 大

NISHIMURA HIROSHI

【プロフィール】'71年京都西陣生まれ。嵯峨美術短期大学ビジュアルデザイン科卒業後、京都の和雑貨をはじめ全国各地の観光物産品の企画・製造・販売を行う会社に入社。また、'90年に「第29回京都デザイン大賞コンペ90」で銀賞を受賞して以降、数々のコンペ出品制作にも力を注ぐ。'06年10月に退社後、翌'07年3月にジャポリズムを設立

支えてくれる人への感謝を胸に 京都発信の新ブランドを生む

15年以上も勤めた会社を辞めて、「JAPO-RHYTHM（ジャポリズム）」を立ち上げるきっかけになったのは、出張中の交通事故だった。ひとつ間違えば命を落としていたかもしれない追突事故に遭って奇跡的に軽症で済んだ後、西村さんは検査入院の間さまさまなことを考えた。それしかできることがなかった。そして行き着いた答えが、「いまやっていることを全部ストップしてみよう」という決意。長年の会社勤めで管理側に立っていた自分を見直し、「絵を描く」という原点に立ち返ることを望んだのだ。それには、療養中に多くの人たちに支えられ、会社人間だった自分がいかに地域の人たちとの交流を疎かにしていたかということに気づかされたことが大きかったという。

「事故のおかげで地元の人たちと触れ合えて、ウラのない、損得勘定の発生しない付き合いができることに感謝しています」と、過去の出来事さえいまの糧にした西村さんの力強い言葉。そこには、尊敬する父の死と自身の事故を乗り越えて知った「命の尊さ」への畏敬の念がある。それからは、ご近所づきあいを大切に、消防団など地域の活動にも積極的に参加するようになった。西陣織りを使用したハンチングは、そこで知り合った職人さんからももらった端切れから生まれた。また、ジャポリズムの主力アイテムとなる「佻び的和柄Tシャツ」は、龍や麒麟などの霊獣や風神雷神などを、派手になりすぎないよう描かれているのが特徴だ。

西村さんが霊獣などを描くようになったのは30歳のころ。美術学校時代は、フランスなど欧米の文化に憧れ、木屋町や河原町の外国人が集うバーなどの壁にタダで絵を描かせてもらっていた。そこで、いろんな国の人たちと話をしているうちに「日本の素晴らしさを知っているのか？」と、逆に日本の魅力を教えられ、外へ向いていた目が内を見るようになった。そうして幼い頃より興味を抱き、当たり前にあった神社仏閣にある霊獣達を描き始め、いまでは得意のモチーフとなった。

「いままでの経験が交わり、活かされ、設立に至ったブランド。それを堂々と引っさげて、目指すは欧米。パリやニューヨークなど、若いころに憧れてやまなかつた異国の中で、何かを教えようというの心を伝えた。また、自分を支えてくれる全ての人に感謝しながら、まずは自身の周囲から笑顔を増やしていきたい。そうすればいつかきっと世界平和も叶うはず。そんな想いを胸に、彼はTシャツ制作に今日も動いている。

information

「ジャポリズム 詩の小路店」

京都市中京区新京極通三条下ル
詩の小路ビル3F
☎075-211-0439 🕒11:00~20:00/不定休
<http://japo-rhythm.jp/>